

# 景気動向調査 令和5年1月分（令和5年1月末現在）

大分県中小企業団体中央会では、県内中小企業の現況、課題を迅速にとらえ、これらの情報を行政等へ提供するとともに、本会事業の活用に資することを目的に、中小企業団体情報連絡員事業を実施しています。

この事業では、県内の主要業種46組合に「情報連絡員」を設置し、毎月の景況調査報告(前年同月比)を収集しています。

## 【1月の景況】

1月のDIは、9指標のうち5指標が好転、4指標が悪化という結果となった。

主要3指標はいずれも好転しており、売上高DIが18ポイント増加、収益状況 DI が5ポイント好転、景況感 DI も4.4ポイント好転となっている。

大分県内は、1月上旬に新型コロナウイルス陽性者数の増加がみられたものの、全国旅行支援や地域クーポン、地域消費喚起プレミアム商品券事業等も実施された。非製造業を中心に、その恩恵を受けたという声が寄せられた。

なお、製造業では設備操業度DIが△18ポイントと厳しい状況が続いており、今後注視していく必要がある。



景況感 DI 値

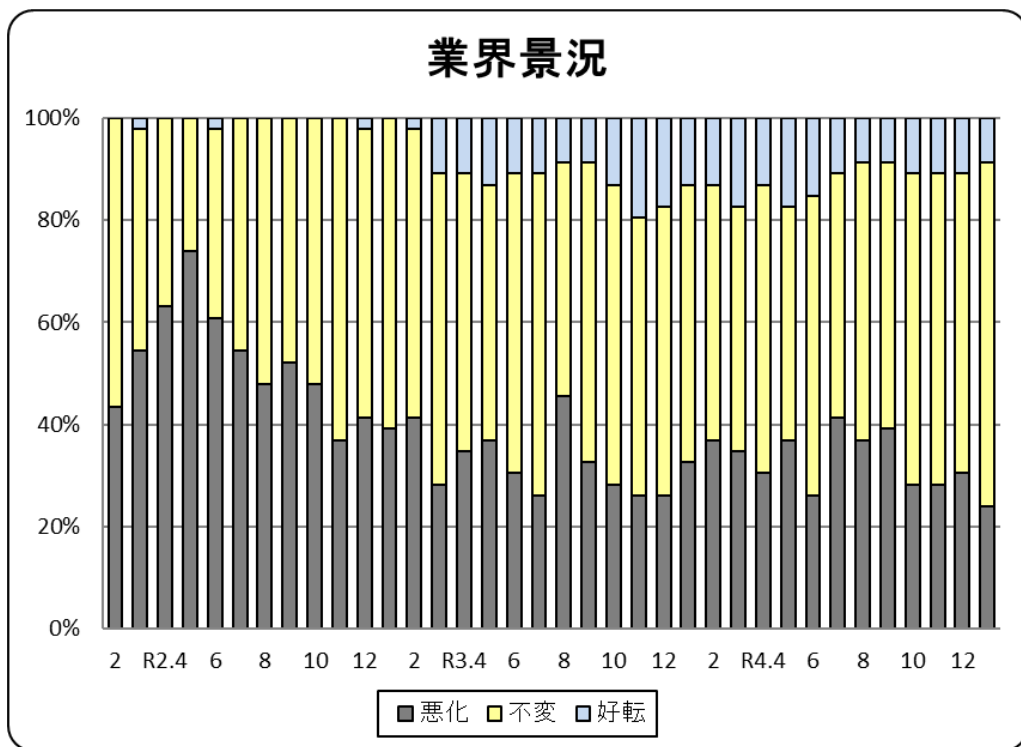


参考：日本銀行「企業短期経済観測調査」（大分支店調査分）

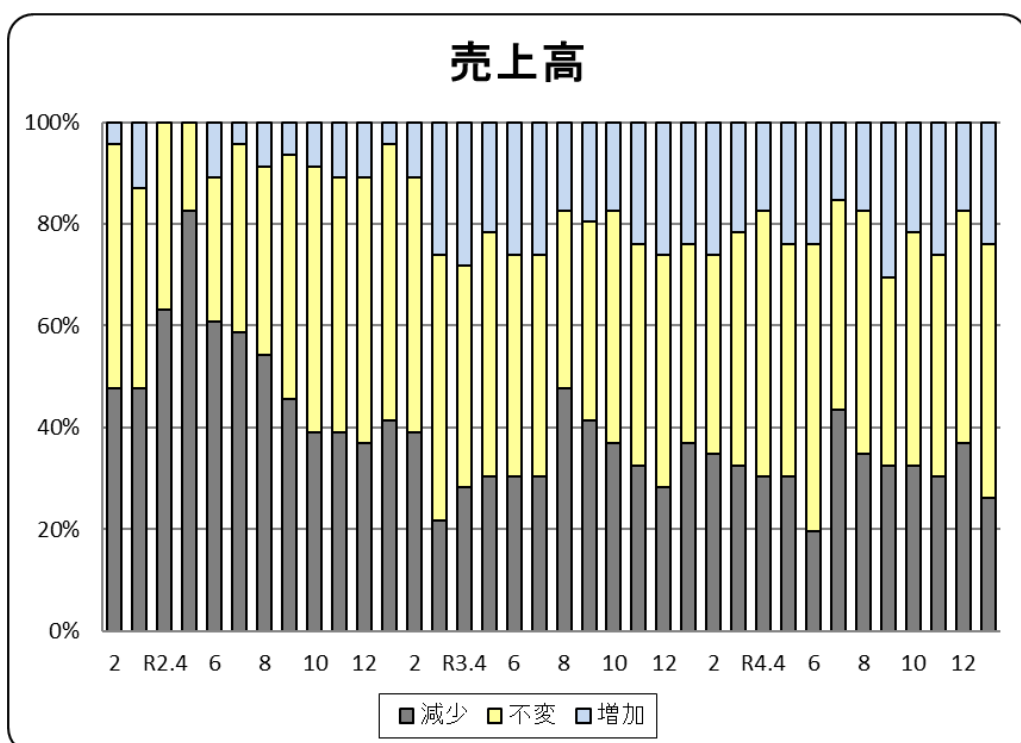
## 【主な調査項目での動向】

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値は、 $\Delta 2$ ポイントとなり前月より18ポイント増加。収益状況DI値は、 $\Delta 17$ ポイントで前月より5ポイント好転。雇用人員DI値は、 $\Delta 9$ ポイントで前月から9ポイント減少となった。

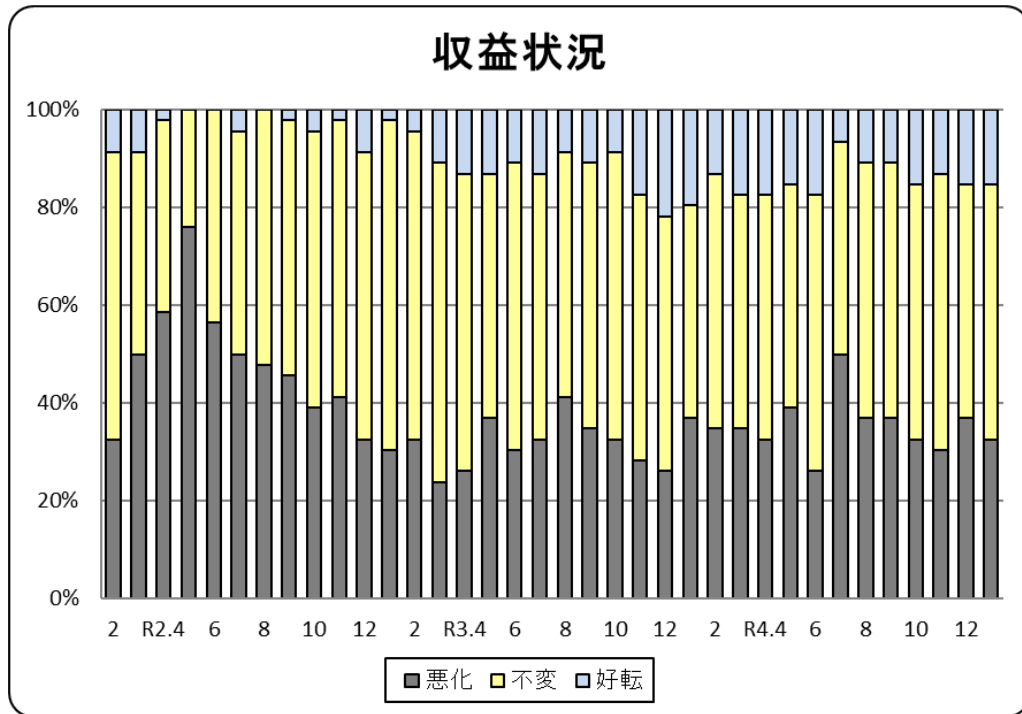
**景況の動向**は、好転は4組合、悪化は11組合であった。DI値は $\Delta 15.2$ ポイントで前月から4.4ポイント好転。割合で見ると、好転9%、不変67%、悪化24%であった。好転した業界はすべて非製造業で、小売業、商店街、運輸業であった。



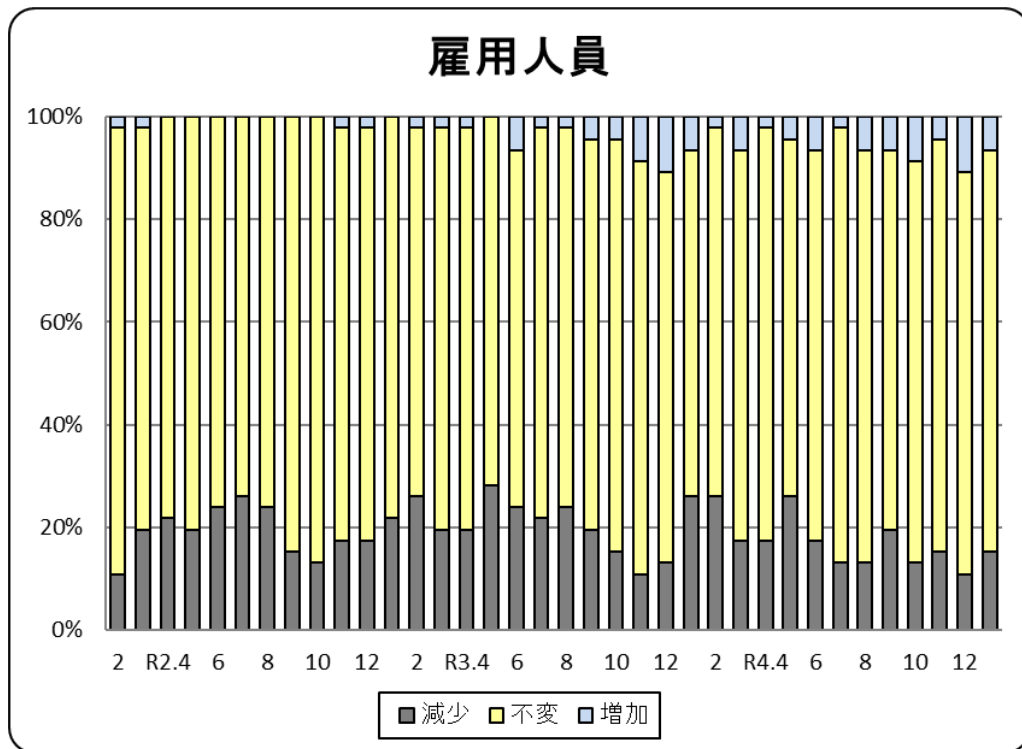
**売上高の動向**は、増加は11組合、減少は12組合であり、DI値は $\Delta 2$ ポイントで前月から18ポイント増加。割合で見ると、増加24%、不変50%、減少26%であった。



**収益状況の動向**は、好転した組合は7組合、悪化と回答した組合は15組合であった。DI値は△17ポイントで前月から5ポイント好転。割合で見ると、好転15%、不変52%、悪化33%であった。



**雇用人員の動向**は、増加は3組合、減少は7組合であった。DI値は△9ポイントと先月から9ポイント減少。割合で見ると、増加7%、不変78%、減少15%であった。増加したのは鉄鋼・金属、小売業、商店街である。



(集計方法)

※DI 値(前年同月比)=[(増加・好転組合数-減少・悪化組合数)÷調査対象組合]×100

(業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成します。)

※小数点以下四捨五入

主要3指標の前年同月比DI推移【大分県】

